

令和3年第1回高梁市教育委員会（定例）会議録

1. 招 集 令和3年1月21日 午後1時30分
2. 開 会 令和3年1月21日 午後1時30分
3. 閉 会 令和3年1月21日 午後2時25分
4. 会議の種別 定例会（第1日）
5. 会議の場所 高梁市役所 3階大会議室2・3
6. 出席、欠席した委員の番号及び氏名

委員の氏名	出欠の別	備 考
藤 井 祥 生	出 席	
吉 川 昭	出 席	
川 上 は る 江	出 席	
渡 邊 あ り さ	欠 席	

7. 説明のため会議に出席を求められた者の職氏名

職 名	氏 名	備 考
—	—	

8. 会議に出席した者の職氏名

職 名	氏 名	備 考
教 育 長	小 田 幸 伸	
教 育 次 長	竹 並 信 二	
参 与	田 村 啓 介	
教 育 総 務 課 長	横 山 英 樹	
学 校 教 育 課 長	片 岡 一 公	
社 会 教 育 課 長 代 理	松 本 武 士	
ス ポ ー ツ 振 興 課 長	藤 井 正 宣	
教 育 総 務 課 主 幹	村 上 靖 恵	

9. 会議に付した議案の題目及びその結果

議案番号	件名	結果
議案第 1号	専決処分の承認を求めることについて	承認
議案第 2号	岡山県高梁市立高等学校条例の一部を改正する条例	可決
議案第 3号	高梁市立小・中学校通学区域見直し検討委員会委員の委嘱について	可決

10. 会議録署名委員の氏名

吉川 昭

川上 はる江

11. 議事の内容

別紙会議議事要録のとおり

第1回教育委員会（定例）会議議事要録

1. 開会

教育長あいさつ

令和3年最初の定例会である。今年もよろしくお願いする。

新型コロナウイルス感染症が拡大傾向にあることもあり、今年は仕事始め式もなく、成人祝賀式も延期となり、静かに始まった。

現在、11都府県に緊急事態宣言が出されている。市としては、これまでの対策に加え、緊急事態宣言が出されている地域への不要不急の往来を控えていただくこと等を市民の皆さんにお願いする市長メッセージを発出した。職員に対しては、県外への不要不急の外出を控えるよう指示を出したところである。市民生活にも大きな影響が出ており、予断を許さない状況が続いている。国内でのワクチン接種も2月下旬開始との国の決定があったところだが、市としても感染症対策室の体制を強化し適切に対応していく予定である。

これまでと同様、感染症対策へ万全の体制を取りながら、できる限り日常の生活を守り、やるべきことはやっていくという姿勢で臨んでいきたいと考えている。

本日は、議案3件を審議いただく。その他のことは、この後の教育長報告やその他協議で報告させていただくので、よろしくお願いする。

2. 前回教育委員会の報告

教育長	前回の報告に対する質問、意見等はあるか。 なければ承認の挙手を願いたい。 (全員挙手)
教育長	前回の会議録は、承認する。

3. 教育長の報告

(1) 議会関係

12月24日(木)	12月定例市議会 閉会
-----------	-------------

(2) 行事等

12月18日(金)	総合教育会議 [高梁市図書館]
12月21日(月)	子ども読書活動推進基本計画策定委員会 [高梁市図書館]
12月21日(月)	県教委人事ヒアリング
12月22日(火)	宇治高等学校 全国高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会 文部科学大臣表彰受賞報告
12月25日(金)	全国大会出場選手壮行会
1月4日(月)	職員表彰式
1月10日(日)	成人祝賀式 [総合文化会館] ※延期 (時期未定)
1月12日(火)	校園長会
1月20日(水)	市災害対策本部会議
1月20日(水)	児島虎次郎を偲ぶ絵画コンクール表彰式 [たいこまるプラザ]

4. 議事

学校教育課長	議案第1号「専決処分の承認を求めることについて」専決第1号「区域外就学の許可について」は、議案に沿って事務局より説明。
教育長	何か意見等はあるか。なければ承認に賛成の方は、挙手願う。 (全員挙手)
教育長	専決第1号は、承認する。 以上をもって、議案第1号は、承認する。
教育総務課長	議案第2号「岡山県高梁市立高等学校条例の一部を改正する条例」は、議案に沿って事務局より説明。
教育長	位置変更の手続きについて、学校機能のどの部分を移転した場合に行わなければならないといった定めがあったか。
教育総務課長	特段の定めはないが、宇治高校普通教室の宇治小学校内への移転が完了し、来年度には校長室や職員室の機能を移転させて学校の主要機能が移ることから、位置変更の条例改正を行うものである。
教育長	これまでも説明させていただいていたとおり、宇治高校の耐震上の問題もあり、隣接する宇治小学校内へ学校機能を移転させている。ただし、特別教室は共用できないものがあるため、現在の教室を引き続き使用することになる。 何か質問等はあるか。なければ可決に賛成の方は、挙手願う。 (全員挙手)
教育長	議案第2号は、原案のとおり可決し、市議会へ提出する。
学校教育課長	議案第3号「高梁市立小・中学校通学区域見直し検討委員会委員の委嘱について」は、議案に沿って事務局より説明。
教育長	今回の検討委員会設置の趣旨について、補足説明を願う。
学校教育課長	現在の学区は、市町合併前の枠組みをそのまま維持しているため、自宅に最も近い学校を通過して遠くの学校へ通うようなケースも部分的に生じている。子どもや保護者の負担が軽減されるよう、改めて学区の見直しを行うため、検討委員会を設置するものである。
教育長	市町合併後の平成19年に一度見直しは行われているが、その際には、地理的要因で配慮を要する地区については届出により就学学校変更ができるようにすることが望ましいとされ、学区の変更までには至っていなかった。学校再編といった動きも出てきている中で、すぐには結論に至らないかもしれないが、学区に関する考え方を示す必要はあると考えている。
教育委員	委員の任期が3月末までとなっているが、2ヵ月間で結論を出すという考えか。
学校教育課長	2～3回程度の会議を開催し、年度内に一定の方向性を示すことができればとの思いはあるが、結論に至らなければ延長も必要とは考える。
教育委員	2ヵ月で結論を出そうというのは、やや性急すぎるのではないかと懸念する。地域有識者として各地域のまちづくり協議会長が委員に選出されているのはよいと思うが、短期間で地域の声をどれほど拾うことができるか。学区の変更というのは、ひいては地域の存続にも関わってくることもいえる内容なので、地域の意見にも十分に耳を傾けてほしい。
教育長	部分的とはいえ課題となっている地区がある以上は、その解消に向けた検討は必要と考えている。
教育委員	対処療法的に一部の課題解決を検討するだけでなく、問題を多面的に捉え、先を見通した検討を進めてほしい。
教育長	他に何か質問等はあるか。なければ可決に賛成の方は、挙手願う。 (全員挙手)
教育長	議案第3号は、原案のとおり可決する。

5. その他

(1) 市長宛てオンライン授業の早期実施を含めた登校選択制の導入を求める要望について

(教育総務課長)

(2) 令和3年成人祝賀式の延期、たいこまるプラザこけら落とし記念公演に関する現況報告について

(社会教育課長代理)

(3) 神原スポーツ公園マラソン大会について

(スポーツ振興課長)

教育委員	イベント等の参加申し込みや支払いについて、今後はインターネットでできる方法も追加してほしい。例えば、児童・生徒は学籍番号だけで、市民はマイナンバーだけで申し込みができるようにデータ連携していてもよいのではないか。マイナンバーは国のルールもあるのだろうが、学校はこれからG Suiteを活用していくことが決まっているのだから、学籍番号だけで管理する仕組みというのはできると思う。職員の事務負担軽減にもつながると思うので、少しずつでもスムーズに管理できる方法を取り入れてもらえればと思う。
スポーツ振興課長	ご提案感謝する。小学生には、学校を通じて年間のイベントを案内させてもらっているのをご提案も一つの方法であるかと思う。ただし、スポーツ少年団に加入している小学生は、学校経由で申し込む場合、スポーツ少年団でまとまって申し込む場合があるので、そのあたりの調整は必要かと考えている。学校経由の場合の手続きの簡素化については、ご提案を踏まえ今後検討させていただきたい。
教育委員	学校経由もスポーツ少年団経由も、申し込みは学籍番号だけで行うということ、最終的なデータベースは学籍番号を参照するが、申し込みのルートとしては団体と個別の二つを用意しておくのが普通だと思う。
教育長 スポーツ振興課長	ヒルクライムやマラソン大会は、インターネット受付を行っていなかったか。スポーツエントリーによる受付を行っていたが、今回の代替マラソン大会については定員を大幅に減らしており、費用対効果も勘案しながら、短い準備期間で早く受付開始ができる方法として今回の方法を選択した。また、スポーツエントリーを利用しようとした場合、契約から大会実施までの手続きがスケジュール的に間に合わなかったという実情もある。
教育委員	その考え方は大きく間違っている。一番早いのがインターネットである。無料でできるものと、手数料が必要なものがあるが、職員の人件費よりはるかに安価で、1時間もあれば設定できる。例えば、Peatixというイベント管理・チケット販売サービスは、不正アクセスによる個人情報漏洩も最近あったが、サービスを活用しているところは多い。契約で時間がかかるといったことは単に知識の問題であって、一番早いのはインターネットである。一番アナログで、時間がかかる方法を取っているの意見だけである。
スポーツ振興課長	教育委員会全体で、認識不足の点はあるかと思う。
教育委員	そうだと思う。
教育長	これまでのように業者を通すのではなく、教育委員会が直接行えば早くできるとのご意見か。
教育委員	そのとおりである。やろうと思えばできることである。

(4) その他

教育委員	オンライン授業に関連するが、高梁市内の範囲でもよいので、オンラインの共通テストといったことはできないだろうか。できれば单元ごとに実施して、すぐに結果がフィードバックできるような、自分の現在のレベルを認知できるようなことができればと思っている。 全国や世界へ視野を広げていかなければならないのに、今の高梁の子どもたちは自分の学校の中だけで物事を考えるような状態になっているように感じている。
------	---

学校教育課長	<p>界の中で日本の教育がどのようなポジションにあって、どのような子どもたちが育っているという認識が、我々も、学校の先生たちも希薄だと思う。</p> <p>高梁で暮らしていても、都会で生活する子どもたちと同じように学び育つことができるグローバルな教育環境を整えることができれば、都会からの移住者の増加も期待できる。学びたい子どもたちが伸びていく環境を整えていく必要があると思う。</p> <p>これからの時代に求められる人材として、Society5.0の社会を生き抜く力が必要ということは学習指導要領にも出てきており、ご意見の趣旨は理解できる。小さな単位で学力をいうものを見るのではなく、世界標準で力を付けていくということは、我々も取り組んでいかなければならないと感じているところである。</p>
教育長	<p>ご意見のオンライン共通テストについては方法の一つであるとは思いますが、実現に向けてはやはり検討が必要かと考える。学習指導要領の教育コンテンツや主体的対話的な深い学びという授業方法は着実に守っていかなければならないと思うが、狙いはご意見の趣旨と一致するものである。そこを目指す道筋を検討中のご意見としてお伺いさせていただきたい。</p> <p>過去に県教育委員会で、算数だけではあったが、単元ごとに実施でき、結果をデータ入力することで県内での状況比較もできるテストを作って学校に配付し試みたが、ほとんど活用してもらえなかった。単元ごとにとというのは、学習の進み具合であるとか費用面であるとかやはり難しい面もあり、全国学力状況調査や県の学力調査によって最低限のことは実施している状況である。</p> <p>GIGAスクール構想による環境整備も進み、他校の情報もどんどん入ってくるようになるし、学校同士の連携ということもいろいろできるようになってくる。そうした中で、子どもたちが互いに刺激し合ったり、自分の現在のレベルを確認できたりするような方法を、全国学力状況調査や県の学力調査の活用も含め、今後の検討が必要ということで、ご意見としてお伺いしておく。</p>

6. 閉会 午後2時25分閉会

高梁市教育委員会会議規則第21条第2項の規定により、ここに署名する。

令和3年2月25日

署名委員 吉川 昭

署名委員 川上 はる江

作成職員 村上 靖恵